稲作ワンポイントアドバイス（No１）

令和６年５月３１日
JA山口県長門統括本部
長門農林水産事務所農業部

１　生育等の状況（水稲定点調査結果より）※平年値は過去５年の平均

	移植日	草丈	１株茎数	葉齢	葉色
コシヒカリ	5/9 （平年5/9）	平年並 24cm（平年25cm）	やや少ない 5.8本（平年7.0本）	平年並 5.2L（平年5.5L）	平年並 4.2（平年4.0）
ひとめぼれ	5/16 （平年5/18）	平年並 22cm（平年20cm）	平年並 5.8本（平年5.4本）	やや早い 5.1L（平年4.5L）	平年並 4.1（平年4.0）
きぬむすめ	5/29 （平年5/27）	やや短い 11cm（平年15cm）	平年並 4.1本（平年4.0本）	平年並 3.1L（平年2.8L）	平年並 3.7（平年3.8）

●5月上旬植えで深水管理が長かったほ場では、稲が徒長気味で、分げつの発生が遅れています。
●ガスがわき、赤枯れが発生しているほ場があります。
●雑草のとりこぼしが散見されます。
※補植用苗の未処分ほ場が多くあります。

２　今後の管理のポイント

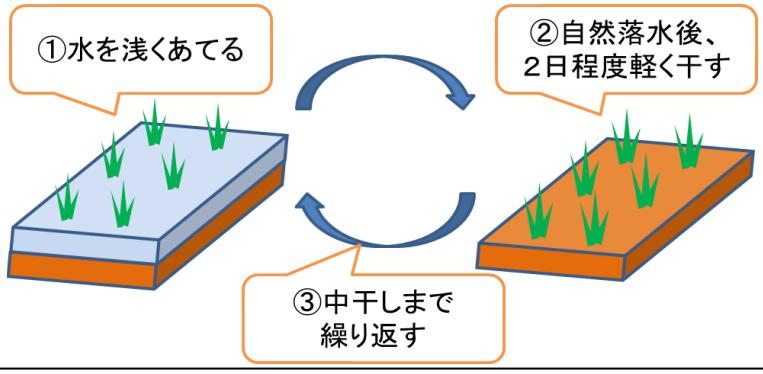
（１）基本の水管理

【５月上旬移植「移植後30日頃を目安に
根の健全化、草姿の回復、倒伏防止のために中干し実施」】

茎数が18本／株程度になるまで間断かん水を継続し、中干し（落水して田面を乾かす）を行いましょう。
水不足で用水が得にくい場合は、湿潤状態を保つよう管理しましょう。

【５月中旬移植「根張りを良くするため間断かん水（移植後30日頃まで）」】

移植後２０日頃から「間断かん水」を行いましょう。



【５月下旬移植】

移植後、苗が活着するまで「深水管理（水深３～５ｃｍ）」で風から稲を守りましょう。除草剤散布後７日間は止水しましょう。
その後移植２０日頃まで「浅水管理（水深１～２ｃｍ）」で、分げつ発生を促しましょう。

※地域の用水の状況や水利ルールに基づいて管理をしてください！

（2）病害虫、雑草の管理など

- 補植用の苗は、いもち病の発生源になるため、速やかに処分しましょう。
- とりこぼしの雑草が多いほ場では、中期除草剤などで早めの処理を行いましょう。散布の際は使用時期（移植後日数、雑草の葉齢）や使用方法（湛水散布・落水散布等）を必ず確認してください。
- 除草剤散布後７日間の止水期間を守りましょう。

3　農作業安全

春の農作業安全運動期間中です（令和６年3月15日～6月14日）。
安全に注意して農作業を行いましょう。

- 特にトラクターでの事故が多く発生しています。
  走行時はスピードを落として、道路の路肩に注意してください。
  ほ場の出入りや畔越えは慎重に行いましょう。
- シートベルト、ヘルメットの着用や適切な服装での作業を心がけましょう。
- 高温の時間帯における作業は避けましょう。
  暑さを避ける行動と、休憩・水分補給を行い、熱中症予防に努めましょう。

長門の水稲の病害虫発生状況、生育状況等をLINEにより発信しています。

「JA山口県　長門　米作りライン」